

当面の主な論点について

1. 「こどもの城」が開発した遊びのプログラム等の分析及び評価について

- 「こどもの城」が開発した遊びのプログラム（約500種類）や地域の児童館等で行われている活動プログラムの実践状況の把握、分析及び評価の方法について。
- 遊びのプログラム等の好実践事例の効果的な普及啓発や情報発信の方法について。

2. 遊びのプログラムの改定、開発に向けた検討について

- これまで蓄積されてきた遊びのプログラムを改定していくために必要となるニーズや関心の把握及び分析の方法について。
- 時代の要請に対応した障害児や配慮を必要とする子どもを含めた新たなプログラムを開発していくために必要となるコンテンツやツール、技法及び効果測定等について。
- 新たなプログラムの試行的実践方法とモデル児童館等の指定の方法について。

3. 地域の児童館等の果たすべき機能及び役割の検討について

- 遊びのプログラム等の実践状況の分析及び評価から導き出される、児童館等の活動に参加した子どもの変化等を踏まえ、子どもの発達段階に応じた「遊び」の効用を体系的に整理することについて。
- 平成23年に策定した「児童館ガイドライン」に基づく取組状況の評価及び課題について。
- 「遊び」を基本としつつ、子どもの健全な育成や子育て家庭への支援に資するために、地域の児童館等が果たすべき機能及び役割の検討について。